

物部川・仁淀川大規模氾濫に関する減災対策協議会

議事概要

- 日 時：平成28年6月2日（木）10：00～11：10
- 場 所：高知城ホール
- 出席者：高知市長（代理）、南国市長（代理）、香南市長（代理）、香美市長
土佐市長（代理）、いの町長、日高村長、佐川町長（代理）
高知県土木部長（代理）、高知県危機管理部長
高知地方気象台長、高知河川国道事務所長、大渡ダム管理所長
- 議 事：規約
物部川大規模氾濫に関する減災対策協議会（仮称）、仁淀川大規模氾濫
に関する減災対策協議会（仮称）について説明
構成員：異議なし
- 議 事：水防災意識社会 再構築ビジョンに基づく取組について 等

高知県土木部長（代理）：

- ・98'豪雨では24時間雨量が約1,000mm降っており、これが2日続けて降らないという確証はないわけで、そこは重く受け止めて避難行動に繋げていくことが大事と思っており、県もしっかり過去の水害履歴に学んで取り組んでいきたい。
- ・市長村への技術的な支援、財政的な支援も含め地域に密着した形でご指導ご支援を国に管理していただきたい。

高知県危機管理部長：

- ・「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」は、非常にわかりやすい目標設定である。
- ・タイムラインについて、高知県の行動欄も入れて欲しい。
- ・市町村のための水害対応の手引きが発出される予定であり、そちらとの整合性を図って作業を進めていただきたい。

高知市長（代理）：

- ・仁淀川の想定最大規模の浸水想定区域図で、高知市春野町において浸水深5mから10mが出たが住民の意識は低く、問い合わせも来ていない。
- ・住民の方への周知をどのようにしていくかが課題である。

- ・避難場所等の確保等について国・県の協力を得て逃げ遅れゼロを目指して取り組みたい。

南国市長（代理）：

- ・物部川では近年大きな被害が発生しておらず、水害の経験者が少なくなり住民意識が低下しているため、水害リスクの啓発を行っていききたい。
- ・ハード面では、中洲状態ができている部分の浚渫、河口閉塞そういった部分の整備をお願いしたい。

香南市長（代理）：

- ・水害リスク情報を共有して安全な地域にするために地域防災があり、大きくは人口減等含め町を救っていくことに役立つ。
- ・物部川の地形の特徴に、左岸側の特徴が記載されていない。
- ・左岸側も東南方向に下がっており物部川から烏川へ下がっている。
- ・物部川が氾濫した場合、河岸段丘が低くなればどこが越流するかというときに可能性としては、左岸側も当然でてくるので越流して市街地に流れ込む可能性があるのもその際の対策を今後検討したい。
- ・左岸烏川の流域は物部川の高水位の算定にエリアが入っているのか。
- ・市の排水計画として、物部川へ直接排水する香南市全体の排水計画を作らして頂きたい。

香美市長：

- ・香美市は、海岸線を持たないことから津波がこないという根拠のない安心が広がっているが、報告にあったように香美市も浸水する区域が大変広がっており対策をしていかないといけないと思っている。
- ・想定最大規模の浸水想定区域図ができればハザードマップを作成して地域にまわりたい。その際、国に協力をお願いしたい。
- ・行政防災無線の工事に着手し、3年以内を目処に浸水区域等の各戸に情報伝達できる仕組みを作り「逃げ遅れゼロ」にするということで、避難指示や避難勧告を速やかにできるようにしたい。
- ・全面的な国の応援も頂きたい。

佐川町長（代理）：

- ・「逃げ遅れゼロ」に関連した取り組みとして、防災まちづくりサロンの取り組みを行っており、各地の自主防災組織などの公民館に出向き大雨、台風の時に各家毎に避難する場所を決めて頂いたり、避難勧告前の避難時の行動について地域のみなさんと一緒に考えてあらかじめ備える取り組みを行っている。今年度も引き続き行っていく予定である。

日高村長：

- ・近年は、内水対策、日下川の氾濫に向けていろいろなことに取り組んできたが、災害についても考えることは大事だなと改めて思っている。
- ・流域には保育園、学校や企業等もあるので、逃げ遅れゼロも含めて、まず堤防補強をしていただき氾濫しないようにして頂きたい。
- ・予測システムの構築また精度の向上をお願いしたい。
- ・タイムラインについても検討している。

いの町長：

- ・市長村については逃げる、国においては、いままでやっていることを列記して堤防の天端の舗装だけ、それしか見えない。大渡ダムもまったく入っていない。
- ・想定最大規模の浸水想定はどの地点が決壊した場合なのか分からない。ハザードマップを作成するためにも元データと拡大図面の提供をお願いしたい。

土佐市長（代理）：

- ・「逃げ遅れゼロ」等の対策についても積極的に取り組んで行きますので国、県のご指導をお願いしたい。

高知地方気象台長：

- ・近年災害の予想が大きく変わっている中で本協議会は意義がある。
- ・情報をいかに的確に発信するか、予測精度の高い情報を発表できるようにしていきたい。
- ・避難勧告、避難指示が出てもなかなか避難されない方がいるため住民のみなさんに危機感とか伝える努力をしたい。
- ・タイムラインは非常に効果的だと思う、情報を受けた市町村がどういう対策をとるか知っておくことで効果的に発揮できる。

事務局：

- ・市町村への技術的支援等は全面的に行います。
- ・予算面については、整備局と本省にも意見があったことを伝え今後検討していきます。
- ・物部川の河道の土砂堆積及び日々巡視等で管理をしており流下能力不足や河口閉塞など支障が出たときにはその都度掘削します。
- ・物部川の左岸側の特徴については、追加記載します。
- ・烏川についても管理者である高知県と相談します。
- ・早期避難に繋がる予測システムについては今後検討していきます。

- ・想定最大規模の浸水想定区域図の詳細については個別に説明に伺います。
- ・ハザードマップの作成に必要なデータについては提供します。
- ・各破堤点毎の浸水想定区域図については、ホームページでも公表するように準備中であります。

司会：

- ・本協議会の目標は、物部川「氾濫が拡散する扇状地性低地の地形の特徴を踏まえ、物部川で発生しうる大規模水害に対し、「逃げ遅れゼロ」や「社会経済被害の最小化」を目指す。」

仁淀川「堤内地の地盤高が低いことや低奥型地形の特徴を踏まえ、仁淀川で発生しうる大規模水害に対し、「逃げ遅れゼロ」や「社会経済被害の最小化」を目指す。」でよろしいでしょうか。

構成員：異議なし